

# 第51回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成29年5月20日（土）14：50～16：40

場 所：JR博多シティ 10階 大会議室（A+B+C+D）

〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街1-1 ※次頁の地図をご覧下さい

参加費：1,000円 募集定員：120名 Field<sup>\*</sup>：A（排尿管理）、D（その他）

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険他）

詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

## テーマ：移乗・移動、排尿治療

● 製品紹介「過活動膀胱治療薬 ステーブラ OD 0.1mg」 小野薬品工業株式会社

開会の挨拶：宮崎 良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：関 成人 先生（公立学校共済組合 九州中央病院泌尿器科 部長）

講演：『当院での排泄動作に対するリハビリテーションの実際  
～移乗、移動動作にも着目して～』

講師：阿部 裕美子 先生

（医療法人順和 長尾病院 リハビリテーション部 [理学療法士]）

～ 講師からのコメント～ 当院回復期リハビリテーション病棟において、リハビリテーションの目標や本人、家族の要望に「排泄動作の獲得」が挙げられる事は非常に多いです。それは介護力を考えた上で在宅復帰の条件となったり、本人、家族の精神的な負担を軽減するために重要な動作となるからだと思います。今回、排泄動作を遂行するために必要な「移乗・移動」にも着目しながら実際の訓練で苦労する点や退院までの流れ、多職種連携等、症例を通しながらお伝えしたいと思います。

講演：『地域医療最前線の泌尿器科診療所での

## 排尿介護の取り組み』

講師：川原 和也 先生（医療法人真和会 川原 脊・泌尿器科クリニック 院長）

～ 講師からのコメント～ 当院が開設する姶良市は人口7.5万人の小都市であります。地域は高齢化が進み昨年65歳以上が人口の30%を初めて超えました。過疎化も進み郡部では限界集落率も高くなりつつあります。高齢化で排尿トラブルを抱える患者さんが急増しており、人口流出で認知症も加わった患者を持つ家族の排尿介護はますます難しくなっています。今後日本があゆむであろう排尿管理困難を率先して経験している現状で、排尿管理治療への当院の取り組みと私の考察を述べたい。

閉会の挨拶：山口 秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、小野薬品工業株式会社  
後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休）

〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8 TEL: 092-282-5910 FAX: 092-282-5812

メールアドレス：info@fukuokahaisetsu-net.org

## 会場までのアクセス

※JR博多シティ アミュプラザ博多のエスカレーター・エレベーターをご利用ください

